

オズの魔法使いがハ

ものがたり

ドロシーはある日、家ごと竜巻に巻き上げられて、飼犬のトトと一緒にオズの国にやってきます。そこで出会った3にんの友だちのかかし、ブリキ、ライオン。

4にんとトトは、どんな願いもかなえてくれる、「偉大なオズの魔法使い」に会うために旅に出ます。かかしは脳みそ！ブリキは心！ライオンは勇気！をもらうため。

ドロシーは、我が家に帰るために…。

2022

12.17 土

開演 16:00 (30分前開場)

自由席 大人 2,000円 高校生以下 1,000円

※3歳未満膝上鑑賞無料。(0歳から入場可)

都城市総合文化ホール 中ホール「あさぎり」

The WON- DERFUL WIZARD OF



人形劇団 **むすび座**

脚色 / 篠原久美子
演出 / 関根信一
美術 / 宮武史郎・小辻賢典
音楽 / ノノヤママナコ
振付 / LONTO・服部哲郎
照明 / 若狭慶大

演出のことば

人形劇ならではの脚色と演出で届けます

演出 関根信一

子どもたちの冒険

今回の脚本では、ドロシーだけでなく、かかし、ブリキ、ライオンも「子ども」という設定です。ジュディ・ガーランド主演の映画では、三人のおじさんが少女を守って旅をしていましたが、子どもたちが力を合わせて旅をすることで、より冒険のわくわく感が増しました。

多様性の魅力

人形を製作していく過程でお願いをしたのは、多様性ということです。ドロシーは、人間とは違う存在の、かかし、ブリキ、ライオンと出会っても、そのことにおどろかず、ひるまず、当たり前のこととして、友だちになっていきます。あまりに当たり前描かれているので、気づきにくいのですが、「オズのまほうつかい」の一番の魅力はここにあるのではないかと僕は感じています。子どもたちが自分と違う存在の友だちと出会って、力を合わせて困難を乗り越えていく。そのようすを、子どもたちに見てもらい、自分ならどうするだろうと考えてもらえたらいいなと思っています。

三人がほしかったものは・・・

また、かかし、ブリキ、ライオンは、自分に自信が持てない子どもですが、彼らは冒険を通じて、自信を取り戻していきます。三人がそれぞれほしかった知恵と勇気と心は、すでに自分の中にあったのかもしれませんが、冒険と仲間との交流のなかで育まれたのかもしれません。

人形劇ならではの脚色

人形劇ではさまざまなスタイルの人形を登場させることが可能です。抽象的な造形、具体的な造形、立体や平面など。人間が演じるときには、なかなかむずかしいことですが、人形劇ならなんでもできます。造形が様々になることで、オズの国の不思議さも増し、ドロシーと三人の子どもたちの個性も際だっているかと思います。子どもたちが多様性に向き合う物語としての「オズのまほうつかい」。人形劇ならではの脚色と演出でどうぞご覧ください。



2022

12.17 開演16:00 ※公演時間90分

自由席 大人 2,000円 高校生以下 1,000円

※3歳未満観覧鑑賞無料(0歳から入場可)

※車イスで鑑賞される方及び介助者は車イス席をご購入ください。

〈プレイガイド〉

窓口販売 都城市総合文化ホール 1Fチケットカウンター(水曜を除く10:00~19:00)

電話予約 TEL 0986-23-7190(水曜を除く10:00~19:00)

インターネット予約 都城市総合文化ホール
ホームページにアクセス(24時間受付)

10.8(土) 一斉発売!



◆神柱宮境内、コンビニなど近隣店舗への駐車はしないでください。
◆当ホールをご利用の際は駐車料金の無料サービスがありますので、駐車券を窓口までお持ちください。

都城市総合文化ホール

〒885-0024 宮崎県都城市北原町1106番地100

TEL 0986-23-7140 HP <http://mj-hall.jp> 毎週水曜休館